

質問7

帆走指示書でその日の第1レースの予告信号時間を規定し、第2レース以降については引き続きレースを実施する場合、引き続きのレースの予告信号を発するための手順はどのようにすべきでしょうか。

回答

引き続きのレースの予告信号を発する手順としては、これまで以下のような方法をよく行ってきました。

【帆走指示書に特別の規定をしない場合】

方法① いきなり予告信号を発する。

方法② AP旗を掲揚し、AP旗の降下1分後に予告信号を発する。

方法③ L旗を掲揚し、レース艇をスタートライン付近に集めた後、予告信号を発する。

【帆走指示書に規定する場合】

方法④ 帆走指示書のレース日程に、「引き続きレースを実施する場合、予告信号を発する〇分前に音響1声とともに口旗を掲揚する。掲揚された口旗は、予告信号の△分前に音響1声とともに降下する。」と規定する。

方法⑤ 帆走指示書のスタートには「スタートラインは、スタートマーク上にオレンジ旗を掲揚しているポール（またはマスト）の間とする。」または「スタートラインは、スターボードの端にあるスタートマーク上にオレンジ旗を掲揚しているポール（またはマスト）と、ポートの端にあるスタートマークの間とする。」と規定し、さらに帆走指示書のレース日程には「引き続きレースを実施する場合、予告信号を掲揚する4分前に音響1声とともにオレンジ旗を掲揚する。」と規定する。

これらの方法に関しては、

方法①：次のレースのスタート時刻の予定が決められていない場合には、新しいスタート手順がまもなく始められることについての何らかの通告を競技者に与えることが求められます。これは、競技者が彼らのコーチ・ボートの傍にいないような主要な大会においては特に重要であり、そして、準備信号が掲揚される前に離れるための時間が必要となるため、いきなりの予告信号は避けるべきであると考えます。

方法②：AP旗の意味は「スタートしていないレースを延期する」です。「延期」とは決まっている時刻をあとに遅らせる意味であるため、引き続きのレースの予告信号時刻が決まっていない場合には、延期する対象がないことからAP旗は適当ではありません。

方法③：L旗は選手への連絡がある場合が主な使い方になります。海上でL旗を掲揚した場合、特にその信号艇が移動していなければ、競技者はレース委員会からの連絡があると考えます。連絡することがないにもかかわらずL旗を使用することは推奨しません。このため、L旗を掲揚する場合には、次のレースの予告信号時刻をボード等により掲示することを推奨します。

方法④：特別に旗（F旗等）を準備する必要があることや手順が増えるため推奨しません。ただし、使用することは可能です。

方法⑤：これはRRS付則Lに記載されている内容であり、特別な旗も準備する必要がありませんので、JSAFレース委員会としては、RRSに則した競技者にわかりやすいレース運営を目指していることから、この方法を推奨します。

なお、ISAFは今後この方法を標準化する方向で検討しているとのことでした。